

Pan-Report™

発行; PanRolling Inc.

年間購読料 63,000 円

無断転用禁止

#1001, Duo, 7-21-3, Nishishinjuku, Shinjuku-ku, Tokyo, Japan, 160-0023 〒 160-0023 東京都新宿区西新宿 7-21-3-1001 fax03-5386-7393

《個人が動きだした ピープルキャピタリズムの第2波か》 1/1

ヘッジファンド

足立 眞一

バロンズ誌が「この文章を trepidation (震え)しながら書いて」という書き出しで「ハイテクへの投資の時期きたる」という特集を組んだのは、昨年8月12日であった。その後も、ニューヨーク株は下落を続けたが、2ヵ月後には大底を入れ、昨年10月から直近までで、ナスダックは実に57%も上昇した。その先見の明と勇氣には敬服したが、私もその米バロンズ誌の表現を借りるなら、「震えながら」、この文章を書いている。

日本の株式市場にピープルキャピタリズムの第2波が訪れようとしている。1955年(昭和30年)神武景気の相場が始まり、その後、岩戸景気の大相場に展開した。第2次大戦後、荒廃の中から急速に立ち直った日本経済を背景にして、衣食を足った個人のおカネが証券市場に、セキを切ったように流れてきた。「銀行よさようなら、証券よこんにちは」という名キャッチフレーズが生まれ、個人投資家が兜町、北浜に押し寄せた。国民の多数の人たちが投資信託を通じて株式投資に参加し、投信が「池の中の鯨」といわれた。産業界では石油化学、自動車産業が開花し、日本の経済成長の原動力になった。軍事力ではなく、産業の力で世界に挑戦するという、自信が生まれた。この当時の様相が、ここ1ヵ月の株式市場を追っていると、脳裡にかすめる。

今回は違う。4月28日のゴールデンウィークの谷間に、日経平均は7607円とバブル崩壊後の安値を記録した。それから2ヵ月余、休みなしに30%も上昇した。1989年に資産バブルで大天井を打って以来、今回と似たような上昇局面は3回あった。1992年、1995年、1998年を底とする反騰相場である。しかしそれらの上昇相場は、いずれもバブル崩壊の負の遺産を処理しないまま、企業業績の頭打ちで挫折した。

今回の底入れが、いままでの3回の反騰局面と大きく異なっているのは、個人投資家の出動である。

個人投資家の売買比率が外人投資家を上回り、40%を超える日が続いた。相場の高安に関係なく、出来高が連日にわたって10億株を超えている。

オンライントレードが原動力になっているが、今回が日本のネット取引元年である。1990年代末にスタートしたものの、当時は米国に比べてインフラの面で立ち遅れていたほか、手続料が自由化されておらず、コスト面での魅力がなく、取引税という障害もあった。これらが改善され、米国なみの水準に追いついた。

先週、先頭を切って第10四半期(4-6月)の決算を発表したマネックス証券は営業収入が50%増加し、株式公開以来初めて黒字化した。ウォール街のITバブル相場に拍車をかけたのが、オンライントレーダーであったように、新ピープルキャピタリズムの原動力の一つを、オンライン取引が担う可能性があると思う。

なぜ個人投資家が動き始めたのか。理由は単純明快だ。「株は儲かる」という自信が出てきたからである。

先週末、新興市場で象徴的な動きがあった。公開したばかりのダウンゴ(3715・マ)が+50万円、フィールズ(2767・店)とワコム(6727・店)が、それぞれ+20万円、ヤフー(4689・店)が+14万円。これらの銘柄を1株ずつ投資していても、1日で104万円の利益である。この日のヤフーの売買金額は160億円と、ソニーを上回り、他の銘柄も1部銘柄並みの売買金額で、「そんな小さな株」とは言えない取引である。明らかに個人投資家の活躍である。ここに上げた銘柄は、これからも上がるとみている。ヤフーは8月に1部市場に指定替えになるが、残りの銘柄は新興市場のリード株である。投資はいまからでも遅くはない。

さて実践路。今週24日にNECエレクトロニクス(6723)が公開される。日本を代表する半導体株の公開第1号。価格の変動の激しいメモリーではなく、システムLSI(大規模集積回路)に特化している。外国で公開株の40%を売り出した。ハイテクのポートフォリオに、当面、必ず組み入れられる。インテルのPERが50倍弱なので、NECエレクトロニクスは7000-8000円の株価を期待する。

過去13年にわたる下降相場は終焉した。個人金融資産1400兆円が目覚まし、株式市場へ舵を大きく取り始めた。

監修 / パンローリング
<http://www.panrolling.com/>

TEL03-5386-7391 後藤
 E-mail; goto@panrolling.com